

8 と 畜 衛 生 事 業

8 と畜衛生事業

(1) と畜場数

公営施設				私営施設					合計
市町村営	市町村一部事務組合	県立と畜場	小計	株式会社	有限会社	農業協同組合	その他	小計	
2			2	1			2	4	5

(2) と畜頭数

区分 年度	大動物(頭)	小動物(頭)	計(頭)	小動物換算(頭) (大動物×3)+小動物
28(A)	21,786	867,314	889,100	932,672
29(B)	21,295	875,663	896,958	939,548
増減 (B)-(A)	-491	8,349	7,858	6,876

(3) 年度別と畜頭数の推移

畜種 年度	牛	とく	馬	豚	めん羊	山羊	計
9	35,456	397	19	712,951	2	1	748,826
10	34,883	359	14	713,838	7	2	749,103
11	35,520	363	7	725,364	3	2	761,259
12	35,823	201	13	699,834	5	2	735,878
13	28,939	192	7	686,142	3	6	715,289
14	36,057	574	10	815,005	0	0	851,646
15	33,702	813	10	810,151	0	0	844,676
16	32,897	905	2	826,279	1	0	860,084
17	26,486	772	5	791,623	0	1	818,887
18	25,441	435	7	775,306	0	0	801,189
19	25,652	430	6	781,885	0	1	807,974
20	25,929	562	8	802,765	0	2	829,266
21	27,282	559	3	875,094	1	2	902,941
22	25,346	665	3	873,796	0	6	899,816
23	28,900	617	2	859,749	1	1	889,270
24	23,711	525	1	868,000	0	4	892,241
25	24,261	560	2	899,646	0	13	924,482
26	25,508	529	3	839,582	0	10	865,632
27	22,950	439	4	866,350	4	18	889,765
28	21,784	525	2	866,781	7	1	889,100
29	21,295	652	0	874,987	0	24	896,958

(4) と畜検査結果

と畜検査頭数及び疾病別処分数比較表

種類		牛			とく			馬			豚			めん羊			山羊			計				
と畜検査頭数 (A)		21,295			652						874,987						24			896,958				
処分内容		禁止	全部 廃棄	一部 廃棄	禁止	全部 廃棄	一部 廃棄	禁止	全部 廃棄	一部 廃棄	禁止	全部 廃棄	一部 廃棄	禁止	全部 廃棄	一部 廃棄	禁止	全部 廃棄	一部 廃棄	禁止	全部 廃棄	一部 廃棄		
処分実頭数 (B)			286	11,043		8	436					1,022	626,047						3		1,316	637,529		
処分率% (B)÷(A)			1.3	51.9		1.2	66.9					0.1	71.5						12.5		0.1	71.1		
疾病別 処分数	細菌病	豚丹毒										1										1		
		サルモネラ症										6											6	
		放線菌病			2			1																3
		その他																						
	ウイルス・ リケッチア病	豚コレラ																						
		その他																						
	原虫病	トキソプラズマ病																	2				2	
		その他																						
	寄生虫病	ジストマ病			5																			5
		その他												41,340										41,340
	その他 の疾病	膿毒症		8									303										311	
		敗血症		116			7						665										788	
		尿毒症		3									3										6	
		黄疸		6									22										28	
		水腫		6	216			1					3	78									9	295
		腫瘍		156	3		1						18	1									175	4
		炎症又は炎症 産物による汚染			11,466			533					1	480,602						3		1	492,604	
		変性又は萎縮			1,877			17						3,763										5,657
その他				1,215			12						170,823										172,050	
計			295	14,784		8	564					1,022	696,607					2	3		1,327	711,958		

(5) 病畜検査頭数

疾病区分	畜種別		牛	とく	馬	豚	めん羊	山羊	計
	肉用	乳用							
(1) 人畜共通伝染病、家畜伝染病を著しく疑うもの									
(2) 起立不能、機能障害のため著しく歩様蹠踉のもの	78	1,044	15			321			1,458
(3) 汚染源となる症状を呈しているもの		1				5			6
(4) 異常熱のあるもの									
(5) そ の 他						1			1
計	78	1,045	15			327			1,465

[例]

(1) 結核、炭疽、気腫疽、破傷風、トキソプラズマ病、豚コレラ、豚丹毒、サルモネラ症、脳炎等

(2) 骨折、脱臼、難産、産じょく麻痺等

(3) 敗血症、尿毒症、膿毒症、フレグモーネ、重度の腫瘍、重度の下痢、著しく衰弱したもの等

(5) 中毒諸症、食滞、著しい貧血症、皮膚発赤及び紫斑を認めるもの(伝染病以外のもの)、鼓張症、疝痛、脱腸、子宮脱、膣脱等

(6) と畜検査状況

所属	と畜場名	牛	とく	馬	豚	綿羊 山羊	計	小動物 換算	開場 日数	延派遣人 数	1日当 り平均検 査頭数	検査員1人 1日当たり 平均検査 頭数	と畜場開催日派遣人数					1日の処理 能力(単 位:頭) ※	備考
	と畜場設置者												月	火	水	木	金		
	所在地																		
中央食肉衛生検査所	野田ミートセンター事業協同組合と畜場																	200 H29.7.8か ら廃止	
	野田ミートセンター事業協同組合																		
	野田市目吹2489-2																		
	印旛食肉センター事業協同組合印旛食肉センター				186,502		186,502	186,502	241	1,693	774	111	7	7	7	7	7	900	
	印旛食肉センター事業協同組合 成田市芦田2420																		
	小計				186,502		186,502	186,502	241	1,693	774	111	7	7	7	7	7	1,100	
東総食肉衛生検査所	千葉県食肉公社																	2,160 木曜日は 半休場	
	(株)千葉県食肉公社	13,913	362		431,027		445,302	473,128	253	3,145	1,871	151	14	14	14	10	14		
	旭市鎌数6354-3																		
	横芝光町宮東陽食肉センター																		940
	横芝光町	3,207	30		125,937	17	129,191	135,605	248	1,999	547	68	8	8	8	8	8		
	山武郡横芝光町芝崎1390																		
	東庄町食肉センター																		
	東庄町				98,024		98,024	98,024	249	1,016	394	97	4	4	4	4	4	500	
香取郡東庄町笹川い4714																			
	小計	17,120	392		654,988	17	672,517	706,757	750	6,160	943	115	26	26	26	22	26	3,600	
南総食肉衛生検査所	南総食肉センター																	330	
	県南畜産処理事業協同組合	4,175	260		33,497	7	37,939	46,289	247	1,562	188	30	6	6	6	6	6		
	長生郡睦沢町北山田寺崎新田15-1																		
	小計	4,175	260		33,497	7	37,939	46,289	247	1,562	188	30	6	6	6	6	6	330	
	合計	21,295	652		874,987	24	896,958	939,548	1,238	9,415	759	100	39	39	39	35	39	5,030	

※1日の処理能力:小動物換算頭数

(7) 牛海綿状脳症(BSE)のスクリーニング検査結果

検査期間	検査頭数	陽性頭数
平成13年10月18日～平成14年3月31日	13,362頭	4頭
平成14年4月1日～平成15年3月31日	36,630頭	1頭
平成15年4月1日～平成16年3月31日	34,515頭	0頭
平成16年4月1日～平成17年3月31日	33,802頭	0頭
平成17年4月1日～平成18年3月31日	27,258頭	0頭
平成18年4月1日～平成19年3月31日	25,876頭	2頭
平成19年4月1日～平成20年3月31日	26,082頭	0頭
平成20年4月1日～平成21年3月31日	26,491頭	0頭
平成21年4月1日～平成22年3月31日	27,841頭	0頭
平成22年4月1日～平成23年3月31日	26,011頭	0頭
平成23年4月1日～平成24年3月31日	29,517頭	0頭
平成24年4月1日～平成25年3月31日	24,236頭	0頭
平成25年4月1日～平成26年3月31日	11,414頭	0頭
平成26年4月1日～平成27年3月31日	6,565頭	0頭
平成27年4月1日～平成28年3月31日	6,934頭	0頭
平成28年4月1日～平成29年3月31日	5,955頭	0頭
平成29年4月1日～平成30年3月31日	1頭	0頭
計	362,490頭	7頭

平成13年10月18日から食用として処理される牛を対象としたBSEのスクリーニング検査を実施している。

なお、平成25年6月31日までは全ての月齢の牛、平成25年7月1日から平成29年3月31日までは48ヶ月齢超の牛、平成29年4月1日からは生後24ヶ月齢以上の牛のうち、生体検査において運動障害、知覚障害、反射又は意識障害等の神経症状が疑われたもの及び全身症状を呈する牛を検査対象としている。

また、これまでにスクリーニング検査で陽性となった7頭は、国へ依頼した確認検査の結果、陰性が確認されている。